

平成 21 年 5 月 20 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2006～2008

課題番号：18720049

研究課題名（和文） 浄瑠璃本による近世後期人形浄瑠璃史の研究

研究課題名（英文） Historical study for Joruri Puppet Theater in later period of early modern by Joruri books

研究代表者

神津 武男（KOZU, Takeo）

早稲田大学・高等研究所・准教授

研究者番号：10424821

研究成果の概要：「浄瑠璃本 じょうるりぼん」とは、「人形浄瑠璃 にんぎょうじょうるり」の台本・脚本をさす。中でも本研究課題が研究対象とする、最後に興った流派「義太夫節 ぎだゆうぶし」の浄瑠璃本は、単に演劇台本であるに留まらず、読み物としてひろく流通した。江戸時代の文学書（出版物）で日本全国に現存・伝来するものは、浄瑠璃本に限られる。膨大な点数の残る浄瑠璃本を基礎資料として、近世後期人形浄瑠璃史の欠を補う。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	1,000,000	0	1,000,000
2007 年度	900,000	0	900,000
2008 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,800,000	270,000	3,070,000

研究分野：日本文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：人形浄瑠璃文楽 / 書誌学 / 浄瑠璃本 / 演劇 / 古典文学 / 近世文学 / 歴史 / 出版(出版)

1. 研究開始当初の背景

従来の人形浄瑠璃史は、主として番付（こんにちのポスターの類）に基づき構想された代表的な成果に、『義太夫年表 近世篇』全八冊（八木書店）がある。しかし番付は、興行を予告したもので、基本的には興行開始後・上演中の改変などに対応していない。

一方、浄瑠璃本は興行開始後に刊行されるので、事後の時点で当該興行を総括する性格を有する。本研究の完遂によって、事前（番付）、事後（浄瑠璃本）の双方の資料に基づき、浄瑠璃史を構想することができるようになる。

2. 研究の目的

本研究課題は、現存する浄瑠璃本について悉皆調査することを通して、浄瑠璃本を基礎資料とした、近世後期の人形浄瑠璃史の再構築をめざすものである。

本研究課題ではその基礎データとなる、浄瑠璃本の所在および書誌調査を推進する。従来の既調査分（228機関、6個人）に加えて、未調査機関を解消して、現段階における日本国内所在浄瑠璃本の完全把握を遂げたい。

なお本研究課題は、特別研究員奨励費（採択期間2001～2003年）、研究課題名「正本（浄瑠璃本）による近世後期人形浄瑠璃史の研究」（研究課題番号01J01842）を補完するものである。

3. 研究の方法

具体的には各年度とも、

(1) 日本国内での浄瑠璃本書誌調査

(2) 浄瑠璃本の諸本研究

を進める。

(1) 日本国内での浄瑠璃本書誌調査

申請時（2005年10月現在）、日本国内228

機関において浄瑠璃本の所在・書誌調査を終えている。近時刊行された目録等によりほかに所蔵が確認された未調査の機関は、残り38機関と数えた。本研究課題の、基礎資料の充実／データ収集のため、未調査機関の所蔵資料を実見／調査する。

(2) 浄瑠璃本の諸本研究

浄瑠璃本は、木板本である。調査では、同じ板木で刷られたものか／異なる板木で刷られたものかを必須の確認事項とする。

4. 研究成果

(1) 研究の主な成果

日本国内での浄瑠璃本書誌調査

三年度で、24機関、3個人の所蔵本1,138点を実見した。

24の所蔵機関の所在地域は、次の通り（都道府県名のあとの数字は機関数。個人を除く）。群馬1、東京2、長野1、富山1、岐阜1、福井2、愛知5、三重4、和歌山2、京都1、大阪1、兵庫2、沖縄1。

機関名の詳細は、次の通り。

群馬（上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会）、東京（帝京大学図書館・東京大学教養学部国文学教室）、長野（真田宝物館）、富山（高岡市立中央図書館）、岐阜（美濃加茂市民ミュージアム）、福井（越前市今立図書館・福井県文書館）、愛知（熱田神宮熱田文庫・安城市歴史博物館・春日井市教育委員会・名古屋市立鶴舞中央図書館・南山大学図書館）、三重（皇學館大学附属図書館・志摩市阿児資料館・神宮文庫・津市津図書館）、和歌山（尾鷲市立中央公民館郷土室・南方熊楠顕彰館）、京都（京都光華女子大学図書館）、大阪（池田市立歴史民俗資料館）、兵庫（園田学園女子大学近松研究所・兵庫県立歴史博物館）、

沖縄（石垣市立八重山博物館）。

申請額からの減額の影響や申請後に所蔵の明らかとなった機関もあり、未調査の7機関を残す結果となった。

浄瑠璃本の諸本研究

の調査で新たに把握した諸本の書誌情報を、従前のデータと照合・検討することを進めた。

諸本研究の結果として、初年度・黒部市立図書館所蔵『曾根崎心中』が、初板初摺本の完本であると判明した（2008年7月、読売新聞・朝日新聞・北日本新聞に報道あり）。

加えて収集した写真資料の精査などを通じて、浄瑠璃本114作品に埋木改修などによる異本文の存在を確認するに至った。これらの検証すべき箇所を、既に調査を終えた資料と校合したならば、より一層精密な諸本関係を把握することが可能となった。

また付随的に、人形浄瑠璃文楽の現行曲の成立時期につき、新見を得た。『撰州合邦辻』下巻「合邦内」、『関取千両幟』「猪名川内」、『道中膝栗毛』「赤坂並木」、『仮名手本忠臣蔵』八段目「道行旅路の嫁入」、『増補競伊勢物語』三ノ切「春日村」など。浄瑠璃本を精査することから、興行史（上演記録）の欠を補い得ることを示した。

（2）得られた成果の国内外における位置づけとインパクト

日本文学、特に近世文学の分野では近時、ひとつのジャンルにおける書目を徹底的に調査することが行われつつある。本研究課題は、近世演劇、人形浄瑠璃文楽における悉皆調査の最初の試みであり、その流布状況が巨大であったことの反映として、同種の調査の中で最大規模となったかと自負している。

近代（工業的な印刷技術と、学校教育の成立）以前の社会において、「もっともひろく読まれた文学書は何か」との設問は、各国各民族の文化的特性を知るに有効な問いかと考えられるが、我が国においては、演劇台本であり、人形浄瑠璃文楽の台本であったことを具体的な数値を以て示し得たことが、本研究課題が国内外に与えるインパクトとしては最大の点であろう。

（3）今後の展望

今後の課題としては、未調査機関の解消で、早期に国内での悉皆調査を完遂させることである。また海外における所在本についても調査を進め、全世界における現存浄瑠璃本の書誌調査を遂げたいと考えている（すでに調査を開始している）。

誤解を恐れずに述べれば、浄瑠璃本研究の水準は高くない。例をひけば平成の翻刻書でも4作中2作が初板初摺本を底本としながら、1作は後摺本、1作は奥欠本を選ぶ。奥欠本は論外だが、後摺本を選ぶのは板元研究の粗さに起因する。

筆者はこれまで個別の板元につき論究したことはあったが、本研究課題に得られた板元に関わる情報を一般的に公開する方途を検討したい。

また浄瑠璃本には上演記録としての側面もあり、これによって興行史の欠を補い得ることについては従来にも知られた点であった。本研究課題を通じては、歴世の出演者たち（主に三味線弾き）が浄瑠璃本に書き残した興行情報の存在を把握した。

人形浄瑠璃の興行では、太夫の担当箇所、人形遣いの役名を具体的に示すのに対して、三味線弾きの担当箇所は示さないのが通例

であった。上記書き入れ本では、太夫と三味線弾きの組み合わせのほか、三味線の楽譜・異本文など、こんにちの現行本文に関する情報が少なからず得られる。

当該資料 343 点の内、216 点は近世期と判定し得る。これらは人形浄瑠璃文楽の歴史、特に上演史を構想するのに欠くべからざる資料であり、やはり従前の興行記録集と関連させ、その公開の方途を検討したい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

神津武男、近世・近代の国民文学 浄瑠璃本涉獵二万点、日本古書通信、947、10-11、2008、無

神津武男、浄瑠璃本(義太夫節)の種類の性格、詞章本の世界—近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情—、巻数なし、24-31、2008、無

神津武男、辻町文庫浄瑠璃関係資料調査報告(後編)—稀書を中心にみる辻町文庫の資料的価値—、演劇研究、31、377-422、2008、無

神津武男、辻町文庫浄瑠璃関係資料調査報告(前編)—稀書を中心にみる辻町文庫の資料的価値—、演劇研究、30、167-186、2007、無

神津武男、七行本の創始時期—近松・筑後掾時代の筑後掾時代の新出資料について—、演劇研究センター紀要、63-74、2007、無

〔学会発表〕(計2件)

神津武男 近世軍記としての浄瑠璃本 軍記・語り物研究会 2008年7月13日 明治大学

神津武男 竹本綱太夫の代々—一幕物作者の系譜として— 芸能史研究会 2007年6月3日 みやこめっせ大会議室

〔図書〕(計1件)

神津武男 八木書店 浄瑠璃本史研究 2009 728

〔その他〕

新聞報道(計3紙)

2008年7月10日・読売新聞「「曾根崎心中」初版の完本 富山で発見」

<http://osaka.yomiuri.co.jp/bunraku/news/bn80710a.htm>

2008年7月11日・北日本新聞「曾根崎心中の初版完本 黒部市立図書館で確認」

<http://www.kitanippon.co.jp/content/s/knpnews/20080711/13223.html>

2008年7月13日・朝日新聞「「曾根崎心中」初版の完本発見」

http://www.asahi.com/showbiz/news_entertainment/TKY200807120099.html

ホームページ等

「近松没後義太夫節人形浄瑠璃初演作品一覧データベース」

<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/oururi/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

神津 武男 (KOZU TAKEO)

早稲田大学・高等研究所・准教授

研究者番号：10424821